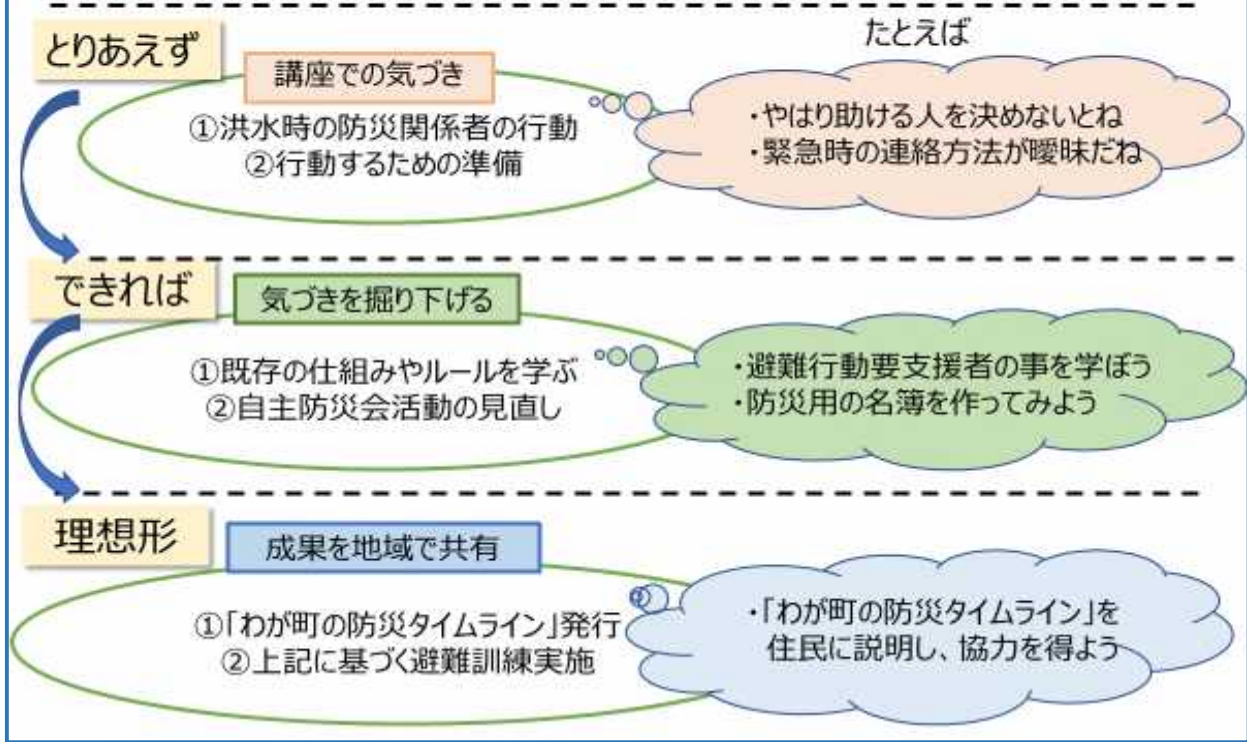


講座のゴール（成果）

それぞれの町内の考え方で、気付きで終わるか、成果を地域にPRできるか・・・



わが町のタイムラインを作るとしたら

警報の種類	長岡市	私たち防災委員のアクション	課題
注意喚起	注意喚起 →おまわり所へ →おまわり所へ	できそうなところから	事例
警戒レベル1 避難準備等注意	警戒レベル1 避難準備等注意 →避難準備等注意	・いち早く全家庭に避難を呼び掛ける（班長/防災委員）	警戒情報の理解が足りない
警戒レベル2 避難指示等注意	警戒レベル2 避難指示等注意 →避難指示等注意	・全家庭に警報発令を知らせる（班長/防災委員） ・要支援者を訪ね、支援する（決められている支援者）	情報伝達の体制が未整備です 要支援者の制度の理解が必要
警戒レベル3 避難指示	警戒レベル3 避難指示 →避難指示	・全家庭に警報発令を知らせる（班長/防災委員） ・全員の避難を確認する（町内三役～含む自主防会長）	情報伝達の体制が未整備です 危険を伴うので議論必要
警戒レベル4 緊急安全確保	警戒レベル4 緊急安全確保 →緊急安全確保	・全住民の安否確認をする（班長/防災委員）	事前の「避難予定先」把握

平常時に準備すること 今の時点ではまだまだ備えが十分ではありません。重要な課題は以下の3点です。

- 1) 避難行動要支援者の安全な避難に向けて、町内の仕組みを整備します。
- 2) 町内の情報伝達方法を取り決め、年1回は訓練を実施します。
- 3) 住民の皆様とハザードマップを理解する講座を開催します。

これらを今後2年間
取組みます。 町内会長

